



2017年 8月

第266号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 小口 多津子  
副会長 並木 信一  
書記 茂木 稔・山本 英次  
会計 長谷川 あや子  
ネット会長 辻 久子  
担当主事 中里 敦  
プリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 清・多河 敏子  
直前会長 中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」  
スローガン “Friendship across the borders” 「国境なき友情」  
アジア地域会長 Tung Ming Hsian (台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」  
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」  
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」  
あずさ部部長主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり、一歩でも前に、そしてあがこう」  
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

### 巻頭言

#### 無理なく、地に根を張って

小口多津子

今年の主題としました地に根を張るには、伸びて広がる、の意味を含めました。時々ふっと、ワイズメンズクラブの意味って、重みって何だろうと考えます。

ワイズがこの地域に存在するのであれば、やっぱり「八王子」に密着ではないだろうか。私たちはいつもこのことは頭の隅に置いています。3月に19回目のチャリティコンサートを大好評のうちに終えて、私たちのクラブはこの八王子市北野という地元で根を張った感触を得ました。演奏開始前の地雷廃絶のレクチャーをこれまで19回も積み重ねてきました。回収したアンケートには、「19回もの継続に頭が下がります」

### 2017年8月例会プログラム (直前会長・メネット会長感謝会)

日時：8月12日(土) 17:00~20:30

場所：欧風創作料理 レストラン FINE

八王子市北野町546-10 江添ビル1F

TEL 042-646-7418

会費：メン3,000円 メネット4,000円

(担当A班：小口、長谷川、中塚、古市、仲田、中里)

受付と集金：長谷川

司会：長谷川

開会の挨拶 会長  
感謝の言葉 会長  
乾杯 会長  
会食：一同  
一人一言 全員  
閉会の挨拶 会長

先月の例会ポイント (7月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	0g
メン	13名	累計	185g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	82%	累計	0円
メネット	4名	スマイル	5,906円
ゲスト	2名	累計	5,906円
ビジター	8名		
ひつじぐも	5名	オークション	0円
		累計	0円

### 聖句

「イエスは弟子たちに言われた。「はっきり言うておく。金持ちが天の国に入るの難しい。重ねて言うが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「それでは、だれが救われるのだろうか」と言った。イエスは彼らを見つめて、「それは人間にできることではないが、神は何でもできる」と言われた。

や”地雷が未だに無くならないことに痛みを覚える”などの声が寄せられて、コンサートが地に根を張っていることを少しは感じ取ることが出来ました。これからのクラブは、ここまで続けてきた力をこの先、無理なく伸びて広がっていくことだと思っています。勿論、その先にはメンバーを増やすことが一番の目的でもあります。私たちクラブは幸いにも学生ボランティア中央大学学Yのひつじくもの沢山のメンバーが協力して下さっています。若さと楽しさを頂きながら、私たちも彼らの何か力になることを考えてお互い勉強し合いながら、この1年間交流を深めていきたいと思えます。ひつじくものサークルは1年間に沢山のプログラムを持っています。特に我々の昔にはとても考えられなかった海外ボランティアには沢山出かけており、頼もしいサークルです(50年過ぎるとこんなにも変わるのですね)。ところで、話は変わりますが、先日のひつじくも須郷委員長のFacebookに、彼らの部室のソファが相当古くなったので何か変わりを探していると、部室の写真にソファが載っていました、今のところソファを募集中とのこと、です。

### キックオフ例会、功刀 弘ワイズのお話

小口多津子

半年ほど前の評議会の二次会、伊丹亭(高田馬場)で甲府21クラブの功刀 弘ワイズとお隣になってお話をしているその後、3月のチャリティーコンサートにも来て頂き、そして7月キックオフ例会の卓話をお願いという順で、この日に実現の運びとなりました。

52年余りの精神科医をされ、ご専門の認知症の予防、なった時の問題とその時の家族の対応が今回のお話の中心でした。このキックオフの出発にふさわしい中身だと思いました。私だけでしょうか、何かあると、まさか!と感じて、認知症の文字が頭をかすめていきます。功刀さんは今月80才になられ、パワーポイントを使っての中身の濃いお話を聞いていますと、このお元気なパワーに圧倒され、とにかく認知症は年齢だけではないことが判りました。

専門用語と思いきや身近な人々の症例を具体的に、最初のはかのレーガン大統領のこと。アメリカ40代大統領の78才の任期の終わり頃はまったく顔の表情もなく、亡くなる93才の15年の経過があったそうです。また、ある患者さんのご夫婦のこと。功刀クリニックの患者さんで東京を引き払って、静かな山梨県北杜市に移住されたとなんにも認知症になられたご婦人の話。認知症にも種類がありアルツハイマー型認知症(AD)と呼ばれるものが大部分で、現在の考えではアミロイドβ蛋白の沈着、遺伝子要因と加齢、さまざまなストレス、特に酸化ストレスは過剰な運動によるストレスが、「過剰な脳の活動、すなわち睡眠不足が第一の酸化ストレス」であるとのこと、です。

高血圧や糖尿病、高脂肪食事などが危険因子となり、5~10年の経過の後に認知機能低下の症状が出てくるのは、

15年後とのことである。さらに、うつ病と認知症の関係。うつ病の初期の睡眠薬のBZP系薬が危険であること。そして長い精神科医の中で、「睡眠障害」についての深いご研究のことが話されました。

睡眠と精神の病、そして認知症が密接な関係があること、睡眠障害がうつ病と関係が深いこと。眠りの質と時間の話、寝る前の過ごし方、さらに生活習慣へと話は姿勢を正される思いでした。功刀さんが30才前後の時、東京天使病院に勤務されていた時、その頃の脳波の研究の中で睡眠障害にも取り組んでおられたとのこと。

いま、睡眠障害とうつ病が深く関係していることがあちこちで取り上げられて話題に上がっていますが、まさに、その当時のご研究テーマだったのです。

この日は、ご長女の天野優子さん(多摩市在住)が、ビデオを持参されて出席されました。さらに、甲府21クラブから松村禎夫ワイズ、野々垣健五ワイズ、小澤智之ワイズもこの例会に遠くから応援で出席されて、総勢31名の賑やかな例会でした。(写真 お嬢様の天野優子さま撮影)



橋本秀昌さんを偲んで

小口多津子

7月28日の夕方、私どもクラブの重鎮でした橋本秀昌さんが天に召されました。翌朝、クラブに一斉に走ったメールには本当に驚きました。1か月前から肺炎になられて入院をされていたそうですが、私達は3月末にお会いしたばかりでした。ご体調の関係でクラブを半年ほど休まれていたので、皆で久しぶりに会いに出かけて、その時は話し込んで好きなお酒が飲めないことが辛い、橋本さんの独演会みたいな楽しいひと時でした。「また、来てよ」と玄関先で言われた声が今でも耳に残っています。あの時の嬉しそうな笑顔が頭から消えません。

クラブの例会では、必ず橋本さんしか出来ないお役があって、それはワイズソングをハーモニカで伴奏して下さることです。歌う前に、皆が目を一斉に橋本さんに向けると、それが合図かのように最初の音を吹かれる、両肘を大きく横に伸ばして、音頭を取りながらのその姿は忘れられません。

橋本さんは、クラブ23年のチャーターメンバーです。まず

メンバー集めに奔走されたという話は、いつもお聞きしていました。誘われて入会された方がクラブには何人もおられます。また、区の仕事では LT 委員を何年ももされていて、会長研修会では緊張しているどのクラブでも新会長の肩の力をほぐす技は見事でした。

クラブを楽しいものに持っていくことにかけて一番に力を発揮され、そのことがワイズライフの基本であるという姿勢は見えて一つ筋が通っていました。これこそがチャーターから築いてこられた一本の柱でした。

もう 15 年ほど前になりますが、常に、クラブメンバーと一緒に外に出ることを楽しく進めて、評議会や部会が遠くの松本、甲府、山中湖、富士山・〇となると、橋本さんは率先して車分乗の全員で出席のスタイルを奨めました。そのたびにクラブは生き生きとしてきて、橋本さん自身がそのことを中心にすることが楽しくて仕方がないという方でした。

76 才はまだまだ早過ぎました。これからの方でした、橋本さんのハーモニカのワイズソングをもう一度、聞きたいです。天国からでは届きません。



在りし日の橋本メンを囲んで (はなことばにて)

### 第一回あずさ部ヤッホー評議会

書記 茂木 稔

今期初のあずさ部評議会が7月15日(土)に松本市に於いて行われました。その会場が松本市駅前会館となっています。八王子からは5人の参加で小口会長、久保田、中塚、長谷川、茂木のメンバーがあずさ号で出かけました。正午頃松本駅に着き、食事は駅前の食堂が込んでいたので、やむなく皆で立ち食い蕎麦を食べました。会場は駅前会館とありますが、駅よりかなり遠く、名前に大きな誇張がありましたが、会場はなかなか良い所です。そこは松本クラブの発足から暫く例会の会場として利用していた記念すべき所であったとの説明がありました。

当日の参加者は51名とこの暑い中を良く集まったものです。会議は1時より始まり、16年度の決算、17年の予算、部会の件等、予定通りに進み、最後に集合記念撮影があり、評議会は終了しました。続いて懇親会に移り、5つの分かれたテーブルに各クラブの人々が分かれて座り、

松本クラブの柳沢岳さんの司会の元、飲み物のジュース、缶ビールの冷たい飲み物が供され、箱に入ったカツサンドが配られました。このカツサンドは松本で有名なお店の商品で大変美味しいものでした。あまりに量が多いとの理由で女性達は夕食として持って帰る方もいたようです。

同時に、この席上で各テーブルで10人で「今クラブで困っていること、その対策」を議論することとなり、20分ほどディスカッションが持たれ、代表者が短くテーブルごとの発表をしました。

アピールタイムは各種ありましたが、10月21日(土)に都内の神楽坂にある「日本出版クラブ」であずさ部会が行われることに続いて、長野クラブが共催する「トレイルライダーとジンリキで行く、白馬五竜のお花畑散策」の呼びかけがあり、これは障害者やアウトドア車椅子の介助と山のガイドがサポートするものです。そのクラブの積極的な姿と、最近会員を2名増やしたとの報告にすごいなと感心しきりでした。7月29日の実施予定ですが、天候が良いこととその成功を願うばかりです。

帰路は夕なずむ甲斐駒と鳳凰山の山姿と、遠くにシルエットを高く見せる富士山の全景を眺めつつ甲府盆地の桃の畑を眺めながら八王子には7時頃に着き解散しました。



### 第27回アジア・パシフィック地域大会に出席して

久保田貞視

2017年7月21日から23日まで、タイ・チェンマイのエンプレスホテルで開催され参加しました。参加者は合計255名で、台湾区から74名と東西日本区で73名をしのぎ、他はホスト役のチェンマイの2クラブが殆ど全員参加して、実行委員長のパット・スリシラパナン女史を盛り立てました。

2年目となるツングン・ミン・シャオ地域会長の下、今回の大会の主題は「One Happy World」で、パット実行委員長はアジア・パシフィックが一つの地域となりワイズの活動を通じて真の幸福な社会を築く礎となる大会にしたいと宣言されました。

キイノートスピーカーのタイ教育省の副大臣パナダ・ディスクル氏は逝去された前国王の絶大な指導力によるタイ政治・経済への貢献、タイ経済の発展により福祉と所得を

向上させ、人民の幸福を目指したと賛辞されました。

2日目の早朝礼拝でもダンロンガイ牧師は詩篇1-6を引用され、人生の目的は幸福を追求することであり、人それぞれ性格が違い、お互いを理解し合うことと恩恵を受けるよりも与えることで世の中が良くなり平和な社会が来ると説教されました。

次の分科会は5グループに分かれ、私はフォーラム3のCS(地域奉仕)に出席しました。まず、IPIPのジョアンが国際での種々の奉仕活動を報告し、その後、各区直前理事が担当区の1年間お活動報告をしたことで出席者は世界・各区のCS活動を理解でき、今回の進め方はよかったと思います。ジョアンIPIPには、休憩時間に国際のCSにも金がかかるが調達は大変と思うと質問したところ、それぞれのポケットで対応していると逃げられました。午後のエクスカージョンも6グループに分かれましたが、マエ・ピン川クルーズに参加。約2時間、ピン川を遡り、長閑な風景を楽しみ、YMCAが関係しているタイの旧農家で学生のボランティアでの演奏や踊りを観て、タイの菓子と茶をいただきました。上陸してから、ワット・ジェダイ・リアムを見学しました。

夜のAPボウルではAPの歓迎の挨拶の後、IBC調印式が田中IBC事業主任の立ち合いで実施。オーストラリアのカンガルーフラットクラブとチェンマイクラブ及びシンガポール・ベータクラブとチェンマイ・ラナクラブの間で締結されました。懇親会では各区単位で芸能を披露し、ダンスに昇りました。AYC参加者も壇上でダンスを披露し、渡邊君も元気で輪の中で目立つ動きをしていました。また、当クラブ推薦の渡辺君や高雄ポートクラブの2人とも写真を撮り、同じテーブルに高雄ポートクラブ推薦のユースのチア・イ・チェンさんとも話をしました。翌最終日は、ユース代表による活動報告と今期の代表に永坂君(5月の草刈りに参加・埼玉クラブ推薦)がなり、挨拶しました。

続いて、岡野CCの分科会報告、パットHCCの大会ハイライトがあり、来年の第73回国際大会(韓国Yeosuで開催)及び2019年のアジア・パシフィック大会(仙台で開催)のPRがあり、閉会式に移りました。その間、2年前に来訪した高雄ユースオーケストラの音楽監督のTsai, Pei-Fenさん(高雄クラブRDEChe-Hung Tsai氏の娘さん)がわざわざ会いに来てくれ、また、突然現れた高雄ポートクラブの林さん夫妻のお会いできました。お二人は別途チェンマイ観光のために来訪された由です。

今回の大会はチェンマイクラブの熱意と親切さで成功裏に終わりますが、肝心のロースター(事前のインターネットには添付あり)とブリテンが無いのが少し物足りなく感じました。

大会が終わり、1人バンコックに移動。24日には前々から参拝したいと思っていた高尾山仏舎利塔のお釈迦様の真骨を与えてくれたナコーン・パトムムのプラ・パトム・チェダイ寺院を訪ねました。巨大な仏舎利塔パゴダで120mと世界一の高さです。

## 他クラブ訪問記

長谷川あや子

### ○東京サンライズクラブ

7月13日、大野あずさ部部長の3番目の公式訪問は東京サンライズクラブでした。山手センターにはすでに大野部長をはじめ神谷書記、西クラブ会長本川さん、石井さん、篠原さん、たんぼぼクラブ会長の小原史奈さんが見えていました。その他にもゲスト3名、多彩な顔ぶれでした。卓話は富士見台デイサービスセンター館長の城条尚美さんによる「もし、介護が必要になったら—介護が必要になったときのミニ知識」でした。城条さんは明るく朗らかで卓話も具体的でわかりやすく、いざとなったらこんな方に相談したいなと思いました。平成28年の調査では高齢化率は(総人口に占める65歳以上人口の割合)は23.1%で過去最高だそうですが、その中でも約半数が75歳以上だそうです。団塊の世代が後期高齢者の年齢になる頃にはどうなるのでしょうか。切実な問題ですが、高齢になっても自立した生活がしたいものです。

### ○東京山手クラブ

7月18日、4番目の部長公式訪問がありました。

東京山手クラブは東日本区として5番目、1953年にチャーターされた老舗のクラブです。今年度会長の上妻さんはワイズ歴56年。2017-18の会長主題は「共に行動 共に喜びを」です。長く山手クラブでご活躍だった鈴木通夫さん、祐子さんが退会されたのは(草加へ引っ越されて)とても残念ですが、遠隔の地にあってもワイズの活動を共に喜んで下さることと思います。山手クラブはお互いが尊敬の念を持って接してらして、終始和やかな雰囲気の中で居心地の良さを感じました。卓話は山手センター主任主事の星住さんによる「YMCAの現状」でした。隣の部屋ではリーダーたちが活発に会合をしている最中でしたが、スタッフやリーダーの皆さんが生きがいを持ってYMCAで活躍して頂きたいです。

### ○東京西クラブ

7月20日、6番目の部長公式訪問は大野部長のホームクラブである西クラブでした。今年4月に日本YMCA同盟総事に就任された神崎清一さんの転入式、それに続く卓話ということで、ゲスト、ビジターが大勢集まりました。八王子クラブ会長の小口さん、たんぼぼクラブの藤江さん、元目黒クラブの福島メネットも出席されました。神崎総事は1981年、筑波大学大学院修士課程修了後、京都YMCAに入職され2003年に総主事になりました。YMCAとの出会いは小学校4年生の時。夏のキャンプに参加してとても楽しい経験を積み、将来はリーダーになりたいと決心されたそうです。「YMCAのブランディングについて」のお話では、セーフティネットよりも一歩先を行くポジティブネットを目指すYMCAの姿勢が心に残りました。より積極的に人と繋がっていく気持ちの大切さを教えられました。

例会に半年ぶりに出席された小山さんをクラブの皆さんが暖かく迎えている様子を拝見し、私も心がほんわか、幸せなひとときを与えられました。

## 西東京センター便り

センター長 中里 敦

暑さ真っ盛りの季節ですが、子どもたちは元気にキャンプに参加しています。昨年の8月号には、7月26日に起こった相模原殺傷事件のことを書きました。その日の衝撃やテレビ映像は今でも思い出されます。被害にあわれた方々に神様の御手がこれからも差し伸べられることを祈ります。

あるYMCA研修で、自分たちは障がいのある方とどのように接しているのか、改めて考える機会が与えられました。自分の関わり方、考え方はどうなんだろう？正しいのだろうか？と迷うことがありました。そのような時、周りにいる仲間と自分の考えを伝え、仲間の考えも聞くことで、頭の中が整理されていく感じがしました。

YMCAには、命の大切さを確かめ合い、共有し認め合っていく仲間がいることを実感しました。同じ思いを持つ仲間がみつき、向き合い、同じ方向を向いて歩む中で色々な人とつながり、そして一人ひとりが良くなっていく場があります。

また、一人の時間も大切だと別の研修で学びました。つながるだけ、居場所となるだけでなく、自立することの大切さを教わりました。まさに、YMCAが行っているキャンプ体験だと感じます。

キャンプは、集団で生活し、グループは居場所であり、他者をどのように受け入れていくかが求められますが、その時に自分自身に問いかけ、自分と向き合うことが求められます。その中で、悩み、考えることで自立、主体性が育まれていくのではないのでしょうか。そして、つながるだけで安心するのではなく、それぞれが主体的に生きることが互いを高めあっていく、それがキャンプだと思います。それは、参加者だけでなくリーダーにとっても大切なことです。

依存だけの居場所ではなく、一人ひとりが自立し、互いが高められていく場としてYMCAはありたいと考えます。

この夏も参加者、リーダーにとって良い経験が積み重ねられるようお祈りください。

## 中大・学Y便り

### 白門祭に掛ける気持ち

ひつじくも 2年 吉田翔悟

これまで白門祭ではひつじくもは八王子生活実習所など、私たちが関わらせていただいている団体の作品を室内で展示してきましたが、この度ひつじくも有志たちで室内展示とは別に屋台を出店することを決定しました。なぜ屋台かというと、屋台はより多くの収益が見込めるからです。それに、屋外という人の活気があふれる場所で活動することは出店者である私たちにとっても楽しいものになるのではないかと思ったからです。最終的には屋台で発生した収益を募金やタイでのスタディーツアーなどの活動へ振り分けることができれば良いと感じています。特にタイスタディーツアーのような多くの費用を有する利益を充当することで参加者一人当たりの負担が軽減され、より多くの人が参加を後押しするのではないかと期待しています。

さて、気になる屋台の商品ですが、今回は「石巻焼きそば」を販売いたします。石巻焼きそばとは宮城県石巻市発祥のB級グルメで、魚粉の出汁をベースと味付けの焼きそばです。なぜこの商品を選んだのかというと、私たちは毎年東日本大震災の被害を受けた地域での支援活動を行っているからです。支援と言っても様々なものがあり、当時の出来事や現在の問題を学び発信していくことも、現地で買い物をすることも、現地の魅力を発信することも支援の一つととらえることができます。今回石巻焼きそばを販売することもそれを意図したことで、これをきっかけに宮城県に少しでも興味を持ってくれたらなと思っています。

さあこの屋台ですが、何とか審査を通り開業に向けて進行中です。このまま無事にオープンできることを目指して頑張っています。屋台の名前は「ご注文はやきそばですか」です。白門祭当日はぜひ来店のほどよろしくお祈りします。

もちろん例年のように様々な団体様の作品展示の方も進めていきますのでそちらもよろしくお祈りします。

(お話)

「神の国」に入る話です。仏教的に言えば「極楽」とでもいうところでしょうか。この話の前に、ある「金持ち」の青年がイエスに従いたいと申し出たら、イエスが持ち物を売り払って貧者に施してからついて来いと言われたのに青年は従えなかったとの話があります。

弟子たちの納得いかない顔つきを見てイエスが「金持ち」より「らくだ」の方が神の国に入りやすいと素っ頓狂な喩えを持ち出したので、弟子たちは殿ご乱心という顔をしたのです。イスラエルの人たちにとって「金持ち」になれるというのは救われている証拠だったからです。

要するに弟子たちにすら「救い」の意味が分かっていなかったということです。私たちにもこのような無知や誤解が多いようです。新年度も、お互いに謙虚に勉強し合ひましょう。

仲田 達男

報 告

〔報告〕

7月8日 第一例会(キックオフ例会)

出席者: (八王子) 小口、長谷川、中塚、中里、古市、並木、茂木、花輪、大久保、多河、福田、辻、(メネット) 並木、久保田、大久保、辻

中大 : 佐藤千紘、佐宗怜子、宮内蒼也、池田情苑、坂本菜美、ゲスト: 斎藤道彦、天野優子

ビジター: 功刀 弘(卓話者 甲府21)、小澤智之(甲府21)、大田勝人(東京世田谷)

本川悦子(東京西)、吉田明弘(東京西)、松村貞雄(甲府21)、野々村健五(甲府21)、篠原文恵(東京西)

- ① 新旧会長・メネット会長引継ぎ式
- ② 小口会長 新年度挨拶
- ③ 卓話: 認知症の予防と生活習慣 功刀 弘(甲府21)
- ④ 連絡・報告事項

(長谷川) 16年度会計決算は、仲田監査代理久保田さんの監査を受けて8月12日に最終報告としたい。

(中里) 西東京センターの夏のキャンプの報告と、8月26日の東京YMCA夏祭りでのトウモロコシ販売について

YMCA夏祭りの抽選券とちようちん購入の願い。

7月15日(土)あずさ部第一回評議会

参加 参加者: 茂木、中塚、久保田、長谷川、小口

(小口) 8月12日(土)直前会長、直前メネット会長の感謝会 北野ファイン参加者募集

22日(土)第二例会の報告です。(敬称略です)

出席者: 中塚メン、花輪メン、長谷川メン、福田メン、小口、<報告事項>

7月15日第一回あずさ部評議会(松本)のこと。

八王子5名(中塚、茂木、久保田、長谷川、小口)の参加。あずさ部長の大野貞次ワイズ(東京西)の挨拶。事業主査、新会長の挨拶。16年度部報2号、17年度部報1号が発行 インビテーションキャンペーンの説明(ゲストの人数はクラブ例会のみに限ること)

CS 事業の説明

部長、部会、評議会担当表が配布された

。(2019年2月評議会を八王子がホスト)

\* 絹の道デイサービスセンター \*

【予定】7・8月はお休みします。9月は27日(水)です。

\*BF2017年x月報告

切手: 国内	1		
海外	0g	累計	185g
ブルタブ	0kg	累計	0kg

高尾の森わくわくビレッジ報告(8月号)

館長 古市 健

気象庁によれば、東京都は今年7月19日まで梅雨だったとのことですが、高尾で働いております実感としては、そもそも梅雨がなかったかのような感じがしております。7月に入ってまとまった雨はほぼ降らず、当館のお客様にとっては幸いな事だったかも知れませんが、草花などの自然には厳しい7月になったかと想像しております。これは私事ですが、我が家の小さな庭に植えてあるアジサイが、既にカラカラに乾いて色を失っております。昨今の異常な気象に一番振り回されているのは、これら自然なのかも知れません。7月にワイズの皆さまにインパチエンスを植えていただきましたが、枯らさぬよう、職員で交代しながら毎日水を与え、今のところ枯れずに花を咲かせております。これからも多くの来館者を癒してもらえよう、引き続き注視をしてみたい所存です。

さて、今年の7月も多くのお客様にご利用いただきましたが、例年と比べれば今年は宿泊者数が落ち着いた状況となりました。但し、それでも3,500名を超える宿泊室での宿泊と150名を超えるテントでの宿泊、そして日帰り施設利用のお客様、原っぱに遊びに来るお客様で賑わい、活況な様子は変わっておらず、職員も忙しい中で体調に留意しながら一生懸命にお客様をお迎えしている状況にも変わりはありません。今月は先月に引き続き幼稚園のお子様たちにも多くご宿泊いただきました。普段と異なりお母さんがいない状況でお泊りをするのは不安もあったでしょうが、元気いっぱい館内で過ごす様子を見て、職員もまた元気をもらっていました。

いよいよ8月を迎えます。宿泊者をはじめ日帰りのお客様も含めて、一年で一番多くのお客様にご来館いただける月となります。全てのお客様に無事にお過ごしいただいて、少しでも多くの楽しい思い出を作ってもらえるよう、職員一同、引き続き力を合わせて取り組んでまいります。

8月誕生日の会員

眞野 みつ子さん	8月17日
田中 寛さん	8月13日